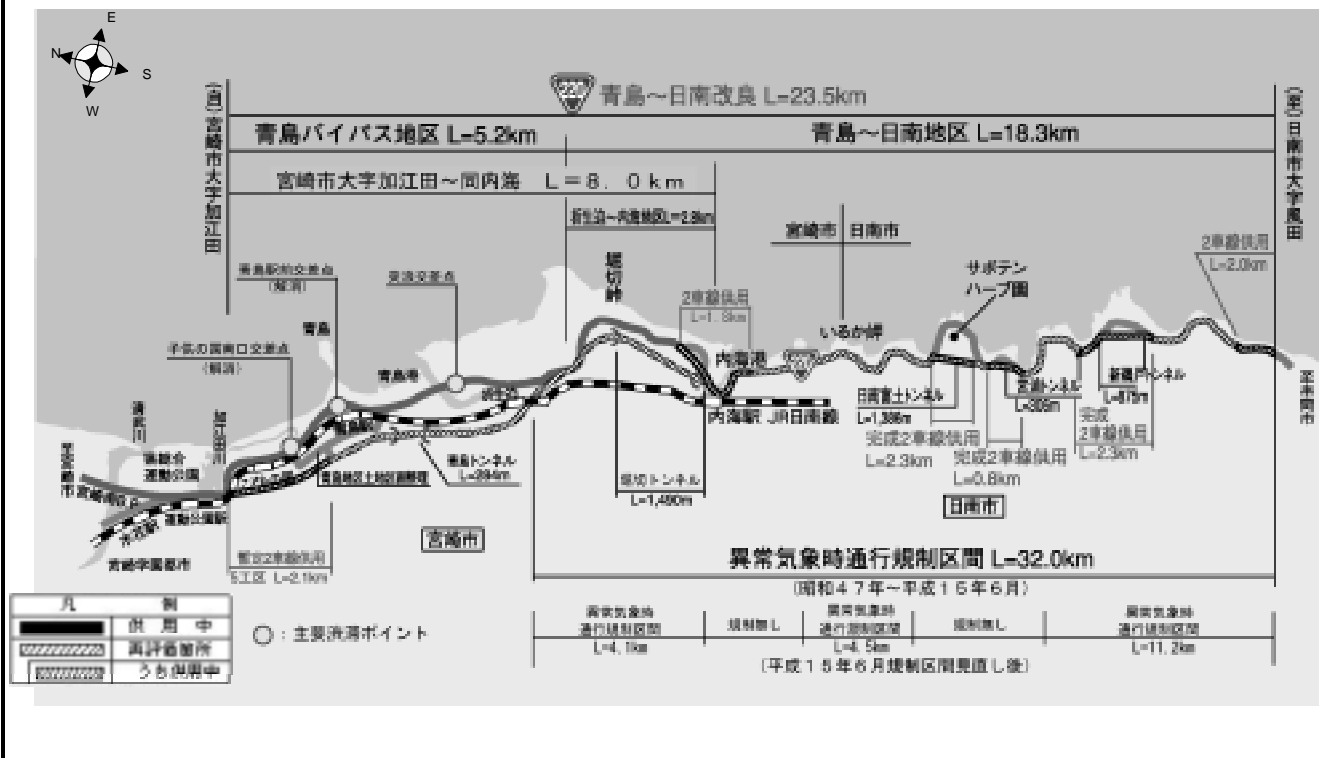


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道220号 <small>あおしま にちなんがいはりょう</small> 青島～日南改良	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省
起終点 自：宮崎県宮崎市大字加江田 <small>みやざき かえだ</small> 至：宮崎県日南市大字風田 <small>にちなん かぜた</small>	延長 23.5 km	
事業概要 一般国道220号は、宮崎市を起点に日南市を經由し鹿児島県国分市へ至る延長約184kmの主要幹線道路である。当該路線は、日南海岸国定公園の景勝地を通過し、観光はもとより県南地域の生活・経済を支える重要な路線として機能している。しかし、地形・地質、気象条件より、全国一の異常気象時通行規制区間(S47～H15)を抱えていたため、法面崩壊などの災害が頻発している。青島～日南改良は、防災対策を目的とした青島日南地区と渋滞解消を目的とした青島バイパス地区から構成される延長23.5kmの道路である。		
S47年度事業化	S61年度都市計画決定 (S年度変更)	S47年度用地着手
S47年度工事着手		
全体事業費	586億円	事業進捗率
計画交通量	13,300～21,300台/日（青島バイパス地区4車区間）	
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 2.1 (残事業) 4.3	総費用： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 117/375億円 (事業費：81/338億円) (維持管理費：37/37億円)
	総便益： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 503/783億円 (走行時間短縮便益：461/729億円) (走行費用減少便益：21/20億円) (交通事故減少便益：21/35億円)	基準年： 平成15年
事業の効果等 ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が見込まれる） ・災害への備え（現道の事前通行規制区間を解消する、防災点検要対策箇所の通行規制が解消される） 他3項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 青島～日南改良により、通行規制区間の短縮や渋滞の解消等、主要幹線道路としての機能向上が期待されており、国道220号青島～日南改良促進期成同盟会（宮崎市、日南市）より毎年整備促進の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 沿線地域では過疎化、高齢化が進展している。一方、沿線の観光施設には多くの観光客が訪れ、休日交通量が増加している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 （青島バイパス地区） 平成7年度に青島バイパス地区5工区(2.1km)を暫定共用し、主要渋滞ポイント3箇所のうち2箇所が解消されている。 （青島～日南地区） 初期の段階では、緊急に対応すべき整備（局部改良、落石ポケット設置、すれ違い困難箇所の解消）を実施した。その後、国道220号防災対策検討委員会(H3～H4)を開催し、委員会で決定した方針に基づき事業を実施し、現在までに9.2kmを部分共用している。その結果、平成15年6月より規制区間が一部解除されている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成17年度の青島バイパス地区(L=3.1km)供用により、バイパス地区が全線開通予定である。また、平成19年度に青島～日南地区の一部(L=2.8km)が供用目途であり、通行規制区間の短縮が図られる。なお、残りの通行規制区間は、今後防災対策の検討を行っていく。		
施設の構造や工法の変更等 橋梁構造から函渠構造への見直し、掘削残土の有効活用などにより、コスト縮減を図っている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	

事業概要図



費用対効果は、宮崎市大字加江田～同内海間（L=8.0km）を対象として算出したもの。
 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。